

## Exercise 31

---

### 31.1 Further conversation practice.

(a) Miss Fujimoto tells her section chief (Mr Hasegawa) about the telephone call from Mr Hayashida (see main text).

藤本: 課長、二十分ほど前に中野商事の林田様という方からお電話がありました。  
長谷川: 用事は何でしたか。  
藤本: さあ、特に伝言はありませんでしたが、「もどりましたらすぐにお電話を差し上げます」と申し上げておきました。  
長谷川: ありがとう。ええと、中野商事の電話番号は...。  
藤本: はい、こちらです。

(b) Kuniko answers the telephone at Yamakawa's.

国子: もしもし、山川でございます。  
マリー: あのう、正さんはいらっしゃいますか。  
国子: 兄はまだ病院からもどっておりませんが...。  
マリー: 何時ごろお帰りになりますか。  
国子: 今日は木曜日ですから、八時ごろには帰ってくると思います。  
マリー: そうですか。それではそのころにもう一度お電話します。  
国子: あのう、お名前は。  
マリー: 失礼しました。マリー・ペレです。  
国子: 兄がもどりましたらお電話があったことを伝えておきます。  
マリー: ありがとうございます。それではこれで。さようなら。  
国子: さようなら。

(c) A conversation between Tadashi and his mother in the morning.

正: おかあさん、今日は帰りがちょっと遅くなります。  
信子: あら、どうして。

- 正: 原先生が音楽会の券を下さったので、ジョンさんと  
いっしょに行ってきます。
- 信子: そう。それは楽しみね。原先生からは前にもお能か何か  
の券をいただいたんじゃない。
- 正: お能じゃなくて歌舞伎のきっぷですよ。半年ぐらい前  
でしたね。先生はとてもお忙しいから、時々僕達助手に  
きっぷを下さるんです。
- 信子: 原先生には仕事のことばかりではなくて特別にお世話に  
なっているので、近いうちにお礼に何か差し上げたいと  
思うけれど、どんなものがいいのかしら。
- 正: そんなことは必要ないんじゃないですか。まあ、その辺  
のことはおかあさんに任せますが…。それでは行って  
きます。
- 信子: はい、行ってらっしゃい。

(d) A conversation between Tadashi and John.

- ジョン: 来週の日曜はマリーさんのお誕生日ですね。何か  
プレゼントを上げるつもりですか。
- 正: うーん。きのうの晩僕も考えていたんだけどいい考え  
が浮かばないんですよ。妹にも聞いてみましたが、  
考えておくって言っていました。
- ジョン: プレゼントを選ぶというのは案外難しいですね。
- 正: 僕は弟や妹にはよく本にするんですが、これは相手の人  
を余程よく知らないと無理ですね。
- ジョン: 子供のころクリスマスに同じ本を三人のちがう人から  
もらったことがありました。
- 正: 僕もそんなことがあったな。
- ジョン: ものを上げるのはやめて、その日はちょうど日曜日です  
から三人でいっしょにどこかへ行くというのはどう  
ですか。
- 正: 賛成だな。とてもいい考えだ。